

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-009

PDCA	事務事業名	半六庭園管理運営事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光担当	担当	渋谷	
					内線等	324	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第1節 観光・産業の振興					
		基本施策： 1. 観光					
		単位施策： (1) 観光資源の活用					
		個別施策： ①観光資源の充実					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	半田運河の観光スポット、市民の憩いの場である半六庭園について、おもてなし・憩いの場としてふさわしい環境づくりを行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・ 除草、庭木の剪定などの緑地管理 ・ トイレの掃除や消耗品の補充などの維持管理 ・ 来園者への案内やパンフレットなどの情報提供といったおもてなし業務					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①清掃日数		359	359	359	日
		②					
		③					
		事業費		10,533	6,790	5,018	千円
		人件費		1,271	635	1,562	千円
		総事業費		11,804	7,425	6,580	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
	①来園者1人あたりの運営コスト		197	130	146	円/人	
	②						
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①来園者数	実績値	60	57	45	千人
			目標値	40	65	65	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C					
		庭園やトイレの清掃、緑地管理など環境美化業務を実施し、半田運河にお越しいただいた方へのおもてなし・憩いの場としてふさわしい環境を維持することができた。また、邸宅を管理する特定非営利活動法人半六コラボによる観光案内を実施し、きめ細かいおもてなし対応が図れた。半田運河HOTORIイベント等の新たな会場として活用し、庭園の雰囲気を活かしたイベントを展開することができた。一方で入場者数が前年度より減少したことは、次年度への課題である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
		おもてなし・憩いの場としてふさわしい環境を維持するとともに、特定非営利活動法人半六コラボを始めとした庭園に関わる各種団体との連携や、拡充実施する半田運河HOTORIイベント等を展開し、半田運河周辺の活性化を図る。					
	令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
		①来園者数				65	千人